学校番号	3010

令和5年度　　美術　　科

教科	美術	科目	絵画（日本画）	単位数	4 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年生に絵画（日本画）・絵画（洋画）・彫刻・デザインの4コースより選択。３年生も同じコースを継続。２年４単位、３年４単位の計８単位
・一斉授業
・個人制作
・完成までの取り組み・技法の理解を重視

履修条件

なし

2　学習の到達目標

絵画(日本画)に関する学習を通して，造形的な見方・考え方を働かせ，専門的な美術に関する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）伝統的な材料や表現形式の特性について理解を深めるとともに，専門的な技能を身に付けるようにする。
（２）表現及び鑑賞に関する創造的な思考力，判断力，表現力等を育成する。
（３）日本の美術作品に見られる美意識や自然観などについて考え、絵画表現の可能性を追求する態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日本古来の文化に関する感性と美意識を磨き個性豊かな絵画の能力の向上を追求している。また、日本画作品の成り立ちや素材、技法についての知識の習得と活用に取り組んでいる。	課題の内容への理解を深めるための資料収集や、アイデアを検討するための十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫するなかにも画材の特性をいかそうとしている。 本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。	日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。 幅広く表現の分野や社会の動向に目を向け自らのテーマ設定に役立て、創造的な造形の活動を追求している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	自然物モチーフの写生	自然物モチーフの写生 写生、彩色表現	a：日本美術に見られる美意識や自然観について踏まえた見方・考え方を働かせ，日本画の伝統的な材料や表現形式の特性について理解し生かすことができる。 ｂ：十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。 ｃ：日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 習作 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート 発表活動の状況
	自然物モチーフ画の制作	日本画画材に対する理解	a：日本美術に見られる美意識や自然観について踏まえた見方・考え方を働かせ，日本画の伝統的な材料や表現形式の特性について理解し生かすことができる。 ｂ：十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。 ｃ：日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。			
2	スケッチからの制作	野外スケッチ	a：日本美術に見られる美意識や自然観について踏まえた見方・考え方を働かせ，日本画の伝統的な材料や表現形式の特性について理解し生かすことができる。 ｂ：十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。 ｃ：日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 習作 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート 発表活動の状況
	風景画の制作	風景画の制作／(構成に対する理解)	a：日本美術に見られる美意識や自然観について踏まえた見方・考え方を働かせ，日本画の伝統的な材料や表現形式の特性について理解し生かすことができる。 ｂ：十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。 ｃ：日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。			
3	花鳥画の制作	花鳥画の制作	a：日本美術に見られる美意識や自然観について踏まえた見方・考え方を働かせ，日本画の伝統的な材料や表現形式の特性について理解し生かすことができる。 ｂ：十分なスケッチや表現の実験を行い、創意工夫しながら与えられた課題に取り組んでいる。本制作において、客観的な視点で作品のクオリティを追求している。 ｃ：日本古来の作品への興味関心を持ち、見学や合評などに積極的に取り組んでいる。新しい知識を取り入れながらよりよいものにしようとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 習作 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート 発表活動の状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度